

病虫害発生予察情報

1 月月報

平成 13 年 2 月 7 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

1 月	気 温				降 水 量		日 照 時 間			
	最 高	最 低	平 均		(mm)	(h)				
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
上旬	9.2	-0.6	-0.8	-0.5	4.1	-0.4	55	567	44.5	78
中旬	7.1	-1.7	-2.6	-1.9	1.9	-2.0	8	49	62.3	118
下旬	7.7	-1.4	-0.4	-0.9	3.4	-0.4	56	376	54.0	84
平均	8.0	-1.2	-1.2	-0.4	3.2	-0.9				
合計							119	282	160.8	89

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：平年値(1979-2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・下旬は平年並で、中旬は低かった。

降 水 量：上・下旬は多く、中旬は平年並であった。

日 照 時 間：上・下旬は少なく、中旬は平年並であった。

<天候概況>

上旬：前半は晴れの日が続いた。後半は雪や雨となり、大手町では7日に初雪を観測した。

中旬：晴れる日が多かったが、20日は雪となり、大手町で2cmの積雪を観測した。上空に強い寒気が入り、旬半ばに最低気温が氷点下の日が4日続いた。

下旬：前半を中心に曇りや雨となった。特に27日は雷やあられを伴った雪となり、大手町では8cmの積雪を記録した。積雪量は平成10年1月15日以来の記録である。

2 作物生育概況

(1) 野 菜

果菜類：低温の影響のため、ナス等において発芽遅れや不揃いがみられた。加温の施設トマトにおいては生育が平年よりやや遅れる傾向にあった。

葉菜類：施設及び露地のコマツナ、ホウレンソウは低温の影響により、生育が遅れ、一部では葉緑が黄化するなどの低温障害がみられた。また、露地作では積雪により葉柄が折れるなど被害がみられた。ネギ、ハクサイ等は降雪や低温により外葉がやや傷む傾向にあった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
マメハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トマトサビダニ	< 少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 並 >	発生は平年並であった。

ホウレンソウ (施設・トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ケナガコナダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 並 やや多 >	全般的には発生は平年並であったが、区部の施設でやや多い発生が認められた。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花卉共通

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ミカンキイロアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 鳥しょの病害虫

特記事項なし

病害虫の発生予察情報、発生状況などをお知らせしています

テレホンサービス

042 (525) 8236

インターネットホームページ

<http://www.taes.metro.tokyo.jp/boujo>